

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税の大切さ

熊谷市立妻沼西中学校 三年 箕田 沙織

「税金について説明してください。」そういう質問を投げかけられたら、私は何も答えられません。現在、私が生活している中で関係する税といえば消費税くらいです。消費税も何年前から内税となり、文房具一つ買うのにも以前より気にとめなくなっていました。

そんな私は、税金について知らなくてはいけないと思い、教科書・資料集で基礎的な知識を勉強しました。それで分かったことがあります。それは、私たちの身の回りには税金があふれているということ、そしてその税金が私たちの生活を支えているということです。

給料からは、所得税・県民税・市民税が引かれ、それは所得に応じた金額になっていて累進課税といわれること。住んでいる家には、固定資産税があること。車には自動車税と重量税があり、その燃料のガソリンには、揮発油税と消費税二つを納めなくてはならないこと。その他に、酒税・入湯税・たばこ税と税金があふれています。

私は疑問を持ちました。どうしてこんなにも多くの税金が必要なのかということです。

なぜ必要なのかというと、その税金が私たちの生活を大きく支えるために使われるからです。空港・ダム・学校の建設のために使われています。そして、私たち中学生も年間一人あたり九十万円以上も税金より負担されて勉強していることになります。教科書をはじめとして、実験器具や机やイス、全て税金でまかなっているのです。税金で勉強をさせていただいているという表現の方がぴったりです。税金のおかげで、私たちの生活は快適なものになっていると言っても過言ではないと思います。

しかし最近では、税金の使われ方を見直していかなければいけないと感じることもあります。テレビで問題にしていた、税金で建てられた宿舎に空室が多かったり、公務員が研修と言って、税金を使って観光していたり、税金を無駄に使っている人が多いからです。自分たちの利益ばかり追うのではなく、国民全体のことを考えてほしいです。

私が税について思ったことは、正しい税の使い方をし、納税者は、税を納める義務とともに、税金の使い道を十分に知ること一つ義務として考えれば、税の大切さが分かるのではないかなと思いました。

中学生の私は、税金を使って学校生活を送っているので、しっかり勉強して税金を納めていける大人になって社会に貢献できたらと思います。